



玉名市議会だより

題字：山田伊宮美さん(天水中学校3年)



2009

7/15

NO.15

■尾田の丸池

6月定例議会

補正後の 一般会計予算

271億891万6千円

6月定例会が6月5日から19日までの15日間の日程で開催された。

主なものは、平成21年度一般会計等補正予算関係9件、条例関係3件、その他3件が上程され、全会一致で可決されました。他に報告6件。

追加議案として、7月末をもって任期満了となる農業委員会委員の議会推薦については、今回、女性3人を推薦。

また、雇用促進住宅玉名宿舎を市営住宅として存続を求める陳情については、全会一致で継続審査となりました。

なお、一般質問では15名の議員が登壇、活発な質問を展開しました。

合併後の暮らしの変化(抜粋)

有料ごみ袋

ごみ袋については大25円、小15円、特小10円。粗大ごみシールについては、一律500円に統一し購入者の負担を緩和。



乳幼児インフルエンザ 予防接種補助金

旧横島町、天水町でのみ取り組んでいた補助を全域で実施。(1回3千円を2回まで)



農業機械等 整備事業補助金

旧横島町、天水町でのみ取り組んでいた補助を新たに全域で実施。



乳幼児・重度・ 母子家庭医療費助成

18年度から医療機関窓口で申請できるようになった。



図書館の ネットワーク

玉名市、岱明、横島図書情報の提供量の増加及び貸し借り場所の拡大が図れた。



各種証明書 発行の受付

本庁、総合支所、計4カ所で受け付けや発行が可能となった。



福祉バスの運行

玉名福祉センター、潮湯、ゆとりーむ、草枕温泉てんすい等を結ぶ高齢者(60歳以上)無料の福祉バスを運行開始。



保育所利用の 拡大

入所対象区域が拡大し、保護者の選択肢がふえた。



防犯灯電気料

電気料の約1/2(1カ所120円)を市が補助することで全域を統一。



・全国市議会議長会から表彰・

全国市議会議長会総会において、市議会議員歴10年として小屋野幸隆議長、高村四郎副議長、作本幸男議員、松本重美議員、多田隈保宏議員、高木重之議員。12年で松田憲明議員、14年で杉村勝吉議員、及び30年として堀本泉議員と中川潤一議員が表彰状を受賞。

また、全国市議会議長会評議員として小屋野幸隆議長が感謝状を受賞。6月定例市議会開会の8日、議場で表彰状と感謝状の伝達を行いました。



後列左から作本、松本、多田隈、高木
前列左から松田、堀本、小屋野、高村、杉村の各議員

質問に立った議員名(会派名)は次のとおりです。

(質問順に記載)

ここが聞きたい

一般質問

ここに記載した質問と答弁は要約したものです。前回までの会議録は市民図書館及び玉名市ホームページ市議会サイトで閲覧できます。

- 堀本 泉 (自友クラブ)
- 青木 ひさし (無会派・公明)
- 前田 正治 (無会派・共産)
- 萩原 雄治 (自友クラブ)
- 福島 嶋治 (自友クラブ)
- 横手 良弘 (市民クラブ)
- 吉田 きとく (有明クラブ)
- 松本 重美 (新生クラブ)
- 宮田 知美 (自友クラブ)
- 田畑 ひさよし (有明クラブ)
- 田島 八起 (無会派・社民)
- 近松 恵美子 (自友クラブ)
- 北本 節代 (無会派)
- 江田 計司 (自友クラブ)
- 松田 憲明 (自友クラブ)

次期市長選挙への出馬について問う



堀本 泉

らく新幹線開通時に完成しそうな驚異的なスピードで工事が進捗している。産業面での功績は、名古屋から企業誘致ができたことだ。ぜひ再出馬され、玉名市の発展のために取り組んでいただきたい。

議員 政策推進に当たっては、丁寧に市民の声を聞く努力をしてこられた。例えば毎年開催された市政懇談会、新庁舎建設等の重要な案件については、市民参加のフォーラムも開催され、さらにパブリックコメントも実施された。事業面では、熊本市や八代市に比べ大変遅くなっていった新幹線玉名駅周辺地域に係る県市協定について、就任早々に協定にこぎつけ、しかも強力な申し入れで立花線に加えて駅前から県道立花八女線とを結ぶ(仮称)東西道路も県が整備してくれていることになった。このことは、政治力の大きさ、強さを示すものだ。国道208号玉名バイパスも、ほぼ同じ距離で30年以上かかったものが、市長の申し入れからわずか5年で、恐

市長 新幹線開業まで2年を切り、合併に伴う特例期間も残り6年、玉名市の将来にとって格別に大事な時期。引き続き市政を担当する決意を固めることは、私に課せられた大きな責任、そういう心境で進んでまいりたい。当時の合併に当たられた首長、あるいは議員の方々、それぞれの役割と責任を負った方々が合併の大義に従って、みずから身を切って合併にこぎつけられた。こういう方々の努力なり決断に報いるためにもしっかりと合併効果を生かす市政を推進する。安心安全は、風水害や自然災害等だけではない。ご年配の方々も若い方も含めて安心して生活できる住みよいまちづくりを進めたい。

市民目線での対話拡大を!



青木 ひさし

議員 市政懇談会を予定されているが、その開催内容は?また、子ども議会の開催内容は?

総務部長 本年度の市政懇談会のあり方については、区長協議会との協議を行い、21の小学校区を基本単位とし、各校区により開催場所・日時を設定し開催することになった。その結果、天水・岱明が中学校区での開催となり、本年度は16カ所で開催する。

急げ!がん検診の受診率向上

議員 市の各種がん検診率は、また、その向上策は、何か。国の補正予算で「女性特有のがん検診推進事業」で子宮がんと子宮頸がんをクーポン券で無料で検診できる施策がある。早期に取り組んでほしい。

市民環境部長 本市の各種がん検診の受診率は、平成17年度より平成19年度まで少しずつ上昇傾向であったが、制度改革により平成20年度は、低下している。対策としては、複合検診の復活、普及啓発の推進及び受診しやすい体制づくりを目指す。

教育長 子ども議会は、8月18日市議会本会議場において、今年度は6中学校を対象に議長や議員役となりみずから運営や質問をしてもらい、市長や教育長等執行部が答弁する予定である。

また、「女性特有のがん検診推進事業」では、国の一次補正の中で、子宮頸がん、乳がん検診の費用が計上されているが、本市においては、国の動向を見ながら、今年度に取り組み予定で準備を進めている。

※他に、地方向けの基金の活用について質問した。

新幹線開通と同時に
料金を上げるな



前田 正治

したい。新玉名駅と玉名駅の連絡はもちろんだが、新たな路線の確保や、走行ルートの検証を行うことにより住民福祉の向上に努めたい。

議員 新幹線開通で在来線特急が廃止され、新幹線に代わり、料金高で福岡方面に通学・通勤の利用者は大きな負担となる。当分の間通勤・通学の料金は据え置きなど何らかの対策を。

建設部長 既開業区間においては割高となっているが、新幹線の利用促進、交流人口増加、地域活性化を図るため、低額の料金で済むようにJR九州に申し入れをしていきたい。

議員 新玉名駅とJR玉名駅との連絡交通とその進捗は。 **企画政策部長** 「地方バス対策地域ブロック会議」や「玉名市地域公共交通会議」での協議を踏まえ、路線バスの見直しを来年の夏ごろまでには決定

議員 20年度まで採用してきた派遣保育士の契約は、今年度どうなったか。また、今後の派遣保育士導入の方針は。市が直接雇用するより派遣契約が経費は高くなる。今後は直接雇用を求め。

福祉部長 岱明4園の派遣保育士の契約は、労働者派遣法上の派遣受入期間3年が平成21年3月末をもって期間満了となる。入所継続児童の影響を考慮すると、派遣職員から臨時職員として継続してもらう必要があるため、全体説明会や個別面談等を実施した。結果として、自己都合での退職者数名を除き、すべての派遣職員が臨時職員として現在も勤務している。今後の派遣については、平成21年度の1年間も臨時職員として雇用し、平成22年より派遣職員へ移行する方針である。



▲新幹線新玉名駅舎

玉名市における雇用対策とPR活動について



萩原 雄治

議員 玉名市内及び近隣の市町村の企業の雇用調整は。 **産業経済部長** 従業員数30人以上の製造業22事業所に聞き取り調査をした結果、雇いどめを実施したのは4事業所で約

30人となっている。 **議員** 誘致した企業の業績が悪化した時の優遇措置は。 **産業経済部長** 業績が悪化した企業への優遇措置は、現在はない。鹿児島県出水市では、撤退企業の固定資産税免除という条例案を提出したそうだが、全国でも珍しい例であり、今後の推移を見守っていきたい。

議員 玉名市全体の観光PRの内容と予算額は。 **産業経済部長** 平成19年度並びに20年度は500万円、21年度は570万円です。内容は県外でのキャンペーン、マスコミ関係招待、ヤフードームでの観光PR事業あるいは各イベントでのパンフレットや看板の作成並びに駐車場警備等の費用に支出している。

議員 今年新しく取り入れた観光PRは。 **産業経済部長** 福岡市内を中心に交通施設、地下街やコンビニ等に設置のモニター約500面を活用し、玉名観光15秒CMの放映を2週間実施した。また、例年とは異なりメディアへの露出を

考え、テレビやラジオ局を訪問し、生放送への出演や収録等に多くの時間を費やしており、しようぶまつりの来場者の声をもとにその効果は大と感じた。 **議員** 九州看護福祉大学のPRについて。 **企画政策部長** 平成18年に市と大学で連携・協力に関する協定を結び、保健福祉事業等の推進支援を行ってきたが、入学者の確保対策は行っていない。今後、大学側とPRを含めた入学者確保対策についても検討を行っていく。



▲九州看護福祉大学の学校案内

大丈夫？ 柵方・受免の排水対策!!



福嶋 譲治

議員 柵方・受免地区は湛水常襲地帯で、施設園芸も思うようできない。

住宅浸水も心配される。経済安全両面からの対策が待たれるが計画はどうなっている。

天水総合支所 柵方、受免地区とも低平地であるため、水田はもちろんだ道路、宅地など湛水被害が生じている。平成20年度、熊本県において事業計画が提案されたのを受け、県に対し今後、事業の早期着手を要望していく。

県道1号線改良工事

急げ!

議員 県道1号線改良工事は、県の説明後、動きがなくて地元住民も不安を増している。その後の進捗状況はどうか。

天水総合支所

県道熊本玉名線は主要幹線道路であるが幅員が狭く特に通勤、通学時に歩行者は危険な状態である。

測量、設計も完了しており、住民の整備に対する要望は強く、安全安心な交通を目指すため、県に働きかけ早期着手を図りたい。

「おにぎりの日」の反響は?

議員 市職員の間で決められた「おにぎりの日」の反響はどうか。

産業経済部長 すべての市職員を対象に毎月18日を「おにぎりの日」に設定している。

おにぎりを主食とした弁当を持参し、米飯をかみしめながら、健康的な食生活の理解を深め、米の重要性を再認識しながら日本型食生活の普及を目指している。

※他に、上下水道整備計画についてと、米飯給食週4日制について、質問した。



▲待たれる排水対策

有明海のアナアオサの回収を急げ!!



横手 良弘

議員 昨年から異常発生しているアナアオサの回収を、国・県・市連携して早急の対応をお願いしたい。

産業経済部長 市としては、水産振興を図る上で、早急に

対処すべき重要項目の1つと受けとめ、国・県・漁協と対応策を協議検討し、現時点では、県の補助事業と市の補助と漁協負担でアナアオサの回収を行うとともに、引き続き国・県へ財政支援及び大量発生時の抜本的対策並びに発生メカニズムと予防策の研究を要望し、あわせてさまざまな対策を講じていきたい。

滑石小学校管理棟の建てかえを切に要望

議員 昨年も質問したが管理棟建てかえに関し、地元も4月に「滑石小学校校舎建築期成会」を発足して気運が高まっている、早急の対応を。

教育次長 滑石小学校管理棟は、昭和39年建築の建物であり、古く、老朽化が著しいことも認識している。現在、改築を前提として、建物の耐力度調査を発注している。7月には調査が完了予定である。8月に県の確認調査があり耐力度が決定する。その結果を踏まえて対応したい。

市職員の法令遵守への対応は

議員 先日、市職員の懲戒処分報告があったが、今後は処分ではなく、事前に防止の方向を図りたい。

総務部長 すべての課に事務分掌の総点検と組織的なチェック等の強化をし、公金の取り扱い等は1人で担当しないよう事務改善の徹底を図ったところであり、今まで以上に厳正なる態度で再発防止に向け、失われた行政に対する信頼を回復できるよう努める。



▲有明海に大量発生したアナアオサの撤去作業

新型インフルエンザ 玉名へも、その対策は？



吉田 きとく

議員 安全で安心して暮らせる社会新型インフルエンザ対策について、福岡市板付発生はついに九州への威を覚え玉名で発生した場合を想定してその対応を検討しているのかまた、策定しているのか。

市民環境部長 本市の対応マニュアルを策定し、有明保健所などと連携し対応する。

議員 教育問題Ⅱ学力テスト学校別結果の公表について。保護者の約70%が公表に期待。二学期制に関するアンケート調査について、保護者にさらに理解を深めるには、授業時間数の増加を。

教育長 文部省の実施要領に基づき市全体の学力状況の分析と対策及び各学校が結果の分析と対策を講じ、それを児童・

生徒及び保護者に説明することが必要であると考えている。二学期制については、学校便り等で取り組みの状況について、保護者等の理解を得るよう指導している。

新庁舎建設は合併協定で決定 その協定書は大義

議員 合併協定書と新庁舎建設について(1)建設場所(2)建設費(3)本庁舎方式統合二元化等協定書の確認について。

企画政策部長 (1)合併協定書に「早期に候補地を選定し建設する」とあることから、市政フォーラム、議会及び各地域協議会などで意見を聴取、集約の結果、市民会館付近と決定した。(2)合併に際し策定された新市建設計画では70億円基本設計では59億8千万円と算定したが、この金額ありきでなく可能な限り削減に努めたい。(3)新庁舎に配置する組織は、合併のメリットを生かすため、協定書の「統合二元化」「総合支所は支所に移行」に沿って計画している。



▲新庁舎のイメージ図

最新エコ庁舎で 時代の先駆に



松本 重美

議員 新庁舎は時代的背景(工コ、CO₂排出権、命名権等)を考慮して太陽光発電機器メーカーと提携、広告塔にすることして新産業の育成、エコの啓蒙に活用。玉名の知名度を上げる玉名ブランドの観光資源

にしては。

企画政策部長 エコ庁舎の取り組みとしては、屋上緑化、バルコニー手すりの緑化などのほか、啓発目的のため規模が小さいものの太陽光発電の設置も計画している。今後の実施設計で、太陽光発電など環境に配慮した設備について、費用対効果の面からも十分検討し、可能な部分については積極的に導入していくことで、注目される先進的なエコ庁舎となるよう努める。

玉南中体育館改築の めどについて

議員 玉南中体育館は築43年、老朽化も進み雨漏りも見られる。また中学校基準の6割の広さで不自由さを強いられている。部活動では使用枠が不足しローテーションで桃田体育館まで出張しているのが現状。送迎する保護者の負担も大きい。教育は国家の大本。他校と平等の施設整備を願う。

教育次長 学校施設の整備については、建築年次が古く老朽



▲狭小な体育館をやりくりしながらの部活動

化の著しい建物から順次整備を進めている。玉南中学校体育館は、建築年度も古く老朽化しており、中学校体育館としては狭いことは承知している。現時点では明確な改築のめどは申し上げられないが、今後、関係者の方々からも十分お話を伺い検討していく。
※その他、卒業ソング(蛍の光、仰げば尊し)の全面復活を。
新幹線の定時性を生かしたエンターテインメントなまちづくり等を質問。

現場主義で生の声を聞く



宮田 知美

議員 リストラ、雇用不安、失業率の増加。そんな文字が新聞にも毎日のように躍っている。玉名ハローワークの求人倍率は昨年の4月は0.76倍。今年も0.34倍。玉名市も企業誘致にはかなり努力しているが、20・30代の若者の働く場が消えかけている。世界的な同時不況時における雇用政策は国策レベルかもしれない。しかし、限られた予算は市民の暮らし向上のためである。農林水産などの生産現場、教育、社会保障や福祉現場などには市民の生の声が一番集まる。その現場の生の声に効果的に迅速にこたえる必要がある。そのためには全庁現場主義を徹底させ市民の生の声を集約化させなければならない。結果、

どのような施策がより効果があるのか、また適正な予算の組み方、人的配置なども決まり、優先順位もより明確になるのではないかと。

総務部長 現場の状況を理解して職務を遂行してこそ現場に即した対応ができるものであり、まさしくそのことが住民に接した行政サービスにつながるものである。しかしながら、定員適正化計画での職員削減により、1人の職員の事務量が

増加していることは否めない事実であり、事務の改善と各職場の事務量に見合った適正な職員配置を行う必要がある。また、研修等を通して現場重視の視点に対する職員の意識づけも必要と考えている。限られた人的資源と財源を有効かつ最大限に活用することにより簡素で効率的な行政運営の仕組みを構築するために、今年度より行政事務の見直しと、組織機能の見直しをするために行政事務改善等検討プロジェクトチームを立ち上げたところである。



▲保育園の働く職場

結婚、定住促進、出産、子育て支援について



田畑 ひさよし

議員 合併後若年層を主に約2千人の減少、積極的に政策の推進が必携と判断し、提案をする。市外より年間20組程度の新婚者に10年定住を条件に一組に100万円の祝金、現国策とは別に、第1、第2子に20万

円、第3子目50万円の祝金、この政策を10年間継続、子どもが600人増、合わせて、千人増となる。市内の経済活性化、定住促進に全力で。

福祉部長 今年は次世代育成支援行動計画後期計画の策定期間。実情に応じた子育て支援策を策定し、任んでよかったと思われるよう努めたい。

議員 我々は我が身を削って非常に難しい合併をなし遂げた。行政区の統廃合推進が最小でも600万円の削減、人口7万人の玉名市に副市長職は部長で決

裁を。年間削減1千万円。合わせて1千600万円、定住促進、子育て支援政策に。

総務部長 行政区の統廃合については、区長会協議会と協議しながら協力していきたい。

議員 高齢社会、健康維持が重用で手軽なスポーツ、グラウンドゴルフが定着、健康は医療費の削減、市の活性化。県大会の誘致できる競技場を。

教育次長 大規模な大会が可

新庁舎建設予定について

能なグラウンドゴルフ場建設については、今後の社会情勢等をみながら検討していく。

議員 新庁舎周辺の乱開発に政策で対処を、市商業地 JR玉名駅、新玉名駅の均衡ある経済発展を視野に政策を。

企画政策部長 商業振興も視野に入れ、市内全域の均衡を図りながら景観づくりや活性化事業を推進していく。



▲手軽なスポーツとして人気があるグラウンドゴルフ

市婦人会連絡協議会の解散と市の関与は？



田島 八起

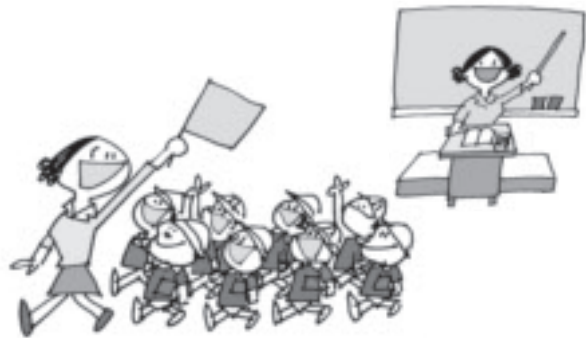
議員 市婦連が本年4月18日をもって解散したと聞く。これまで女性の地位向上と社会参加、青少年の健全育成や福祉活動、各種団体・地域組織との連携等役割は大きかった。市は市婦連の活動をどう評価し、解散には市の関与も聞く。市婦連の解散の経過はどうか。

教育長 市婦連の活動は60年にわたる地域に根差したもので、高く評価しているところだが、会員の高齢化などの問題で3人の会長から退会の意見があり、4人の会長に集まっていただき負担をかけた活動が主体に、今後のことをお話ししたところ、全員の合意で解散を決定され、総会で報告をされた。

教職員の超過勤務の把握と労働安全の確保

議員 小中学校の長時間労働の軽減については、超過勤務の実態把握なしに対策は進まない。一方労働安全衛生法の改正で長時間労働による健康被害の対策は進み、県内では熊本市教委の取り組みが進んでいる。超過勤務の実態把握や労働安全衛生委員会の機構づくりに熊本市方式を取り入れたら。また本市でも50人以上の職場もあると思うが労安委づくりは。

教育長 長時間勤務の現状把握は、校長に対するヒアリングやアンケート調査で行っている。パソコンのエクセルを使っての個人毎の勤務時間管理については、今後研究していきたい。安全衛生管理は、教職員の心身の健康保持増進を目的に、法令等に基づき整備を図っている。今年4月に玉名中学校の教職員定数が50名となったので、衛生管理者を指定したところである。衛生委員会等も設置するようになっており、これについては、現在整備中である。



公立玉名中央病院の運営について



近松 恵美子

議員 自治体病院の危機が叫ばれているが、公立玉名中央病院の運営上の問題は！

市民環境部長 赤字の主な原因は、平成18年度の診療報酬マインス^{3.16%}の改定、慢性的な医師不足、職員の高齢化に伴う人

件費の負担増、入院患者の減少などが挙げられる。今後の対策として、経営改革プランを執行し、中でも診療材料費の購入方法の見直し、職員の高齢化に伴う人件費の削減、勸奨退職の時期及び方法の見直し、経費の節減などを実施していると聞いている。

議員 終末期医療の充実のために、緩和ケア病棟の開設の考えはないか。

市民環境部長 一般病院では受けることができないケアが受けられるが、そのためには人材の確保など当然それに見合う経費等も発生するので、現在病院では、経営改革プランに基づき、鋭意努力されているところである。

望まれる高齢者の事故予防対策

議員 玉名管内でも、ブレーキとアクセルの踏み間違いによる事故が4件、ブレーキ操作の遅れなどによる事故が6件あった。ブレーキの踏み間違いは、

過去には死亡事故を引き起こしたこともある。高齢者の事故防止に踏み間違い防止ペダルの普及に力を入れてはどうか。

福祉部長 今後とも玉名警察と連携を図り、高齢者の交通安全教育を一層推進し、交通ルールとマナーへの理解を深めていただくよう努める。また、ご指摘された自動車の安全対策のためのペダルについては、超高齢化社会において非常に有意義な事項であると認識しており、今後慎重に検討する。



▲玉名中央病院

先駆的な 認知症対策を望む！



北本 節代

議員 団魂の世代が高齢を迎え、平成25年には30万人を越える。認知症対策はどう考えるか。

福祉部長 地域において認知症高齢者等とその家族を支えるため、認知症への予防・早期発見・ケア等の対応を行うマンパワー、認知症対策のための地域の取り組み、認知症に係る拠点施設などをネットワーク化し、相互に連携しながら有効な支援を行うことができる体制の構築を目指す。

議員 傾聴ボランティア、成年後見人等、認知症サポーターの人材育成をさらに推進せよ。

福祉部長 孤独な高齢者にとつては、近くに話相手となることができる傾聴ボランティアが存在すること自体に大きな価値がある。よって、傾聴

活動の充実に努めるための具体的な施策の推進を検討する。また、成年後見人等の人材育成も将来的には積極的に推進しなければならないと考える。



▲102歳で在宅で暮らす高齢者

児童虐待 デートDV防止を急げ！

議員 児童虐待の現状とその対応は。デートDV防止を教育の現場で取り入れてほしい。

福祉部長 平成20年度における児童虐待は14件、虐待者は実母が最多で8件、被虐待者は小学生が最多で7件。虐待種類は身体的虐待及びネグレクトが

6件である。子育て支援課内に家庭児童相談員等を配置し児童虐待等の相談体制を整備している。

教育長 今後とも子どもたちがデートDV等の被害者になりやすい女性の人権を含め、全ての人々の人権を尊重し、人権感覚に満ちた態度や行動がとれるようにするため、「デートDV」未然防止を含めた人権を大切に

新庁舎は 市民の目線で



江田 計司

議員 市民の目線からの新庁舎の必要性について。

企画政策部長 現庁舎がバリアフリー対策が十分でないので、新庁舎では万全に施すことはもとより、まずは1階の床面積を広くし、窓口業務を持つ課を

配置する計画としている。本庁機能の分散には、業務と人員を集約化することで対応し、効率化を推進したい。

議員 マルシヨク跡地利用について。

企画政策部長 跡地は長年の懸案事項であったが、市政フォーラム等での提案や意見を踏まえ、跡地の一部を市で購入した。今後、その活用策を周辺の一体的な整備や道路の交差点事業を見ながら話し合う。九州新幹線及び新玉名駅開業前をめどに整備を完了し、玉名市民のにぎわいの場、憩いの場となるよう努め、中心市街地の活性化につなげたい。

議員 新幹線駅前広場について。

企画政策部長 駅前広場に隣接する3.2haについては、庁内関係会議を実施し交流施設の必要性を初め総合的に検証を行

っている。具体的整備手法について早い時期に方向性を決定したい。

議員 大野下地区の冠水対策は、

岱明総合支所長 主な冠水要因は明神排水機場までの排水路未整備によるものである。要因の1つである県道を横断している排水断面の改良を県に要望する。冠水の根本的解消には下流域にあたる扇崎・大野下地区圃場整備事業の推進による幹線排水路整備が不可欠であると考える。



▲マルシヨク跡地

どつとなる！
大野下・扇崎地区圃場整備



松田 憲明

議員 当地区圃場整備と切り

離せない、馬場公民館前・駅前
の湛水常襲地区がある。それは
広範に及ぶ地区外から流入の
地形の構図がある。防災上、市
の対応はできないものか。

岱明総合支所長 地元説明会

では防災上の要望として大野
下駅前の湛水被害の早期解消
を求める要望が多く出された。
圃場整備地区の関係流域とし
ては28haである。このうち8割
が地区外からの流入面積である。
このため全体事業費が増大し、
半分を幹線排水路整備費で占
めており、これに伴い受益者負
担額も増額している。排水機場
の排水能力は十分であるが、駅
前からの幹線排水路が未整備
のために流れがスムーズにい
かず湛水していると考えら



▲大野下駅前の湛水常襲地区

れる。防災上の観点から駅前の
湛水と馬場区公民館前の湛水
被害の根本的解消のためには
下流域にあたる幹線排水路整
備が必要不可欠である。防災上
の課題解消と農業経営安定確
保のために関係機関と連携し
圃場整備事業の推進を図る。
※10年近い、推進委員さんの苦
労を裏らせない。耕作者の高齡
化・耕作放棄地・安心安全の食
糧自給率のアップ等、圃場整備
は不可欠である。当地区から、
鍋地区圃場整備の推進に望み
をつなげたい。

濁水被害の恒久対策進む

新幹線特別委員会

5月26日に委員会を開催し、
継続審査中の案件を審査。
濁水対策が先行している南
関町宮尾地区を視察。現場の1
つ「東の沢ため池」で、地区の農
業管理組合の人たちから、恒久
対策等について説明を受けた。

玉名トンネルの濁水恒久対
策の飲料用水は、石貫3区は給
水開始、4区は、21年度予算で
上水道整備を計画。三ツ川地区
は本年度中に事業認可取得予定。
水田用水は、補償面積の確認書
締結、石貫2・3区は工事を開始、
その他の地区は機構による概
略設計中。

ほかに新
幹線並び
に駅前広
場整備に
ついては
順調に進
んでいる
旨の説明
を受けま
した。



▲南関町宮尾地区にある「東の沢ため池」を視察

さらによりよい議会だより

議会報特別委員会研修報告



▲活発な意見交換で時間も延長

4月20日広島県三次市へ議
会だよりの現状と今後の編集
方針について研修。三次市の広
報委員長を初め委員の方々に
迎えられ現状を交換。その後、
詳細にわたって質疑応答。一般
質問のまとめ方など大いに参
考となった。

また紙面の使い方、余白も有
効なことなどを学び、時間を延
長しての研修は充実したもの
となった。議会報と長きにわた
って取り組んでいる三次議会
の皆さんとの交流、意見交換が
できたことは大変有意義だった。
道中、リーフレタスの大規模野
菜工場、広島県立歴史博物館等
を視察。

岱明ルート進捗状況

玉名バイパス特別委員会

4月22日に委員会を招集し
ましたので、審査の経過と結果
を報告します。

現在の岱明ルート4.2km区間
の進捗状況は、用地取得が96%
完了。

1工区の蛇ヶ谷公園テニス
コート南側から、4工区の岱明
町開田まで全ルートの工事発
注が済み、既に着工もされてお
り、国・県の協力のもと着々と
進んでいます。

また、各工区の工事現場を視
察し、現場代理人から工事内容
の説明を受けました。



▲岱明ルート工事現場の視察

玉名町小学校体育館 建築着手

付託された案件は議案2件。21年度一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ1億91万6千円を追加し、総額を27億891万6千円とする。今回の補正の特徴は①20年度ふるさと寄附金を財源とした事業、②20年度国の第2次補正による事業、③県の基金を活用した緊急雇用対策事業を盛り込み計上。歳入の主なもの、県支出金の非主食用米総合推進補助金や緊急雇用創出基金補助金など。また、基金を活用し

た2事業の予算を計上。次に、玉名町小学校体育館の工事請負契約について。鉄骨造平屋建、床面積は13330平方メートル。10社による指名入札の結果、新規建設(株)玉名支店2億6千250万円で落札。2議案とも全員一致で可決。また、5月19日から2泊3日での行政視察。栃木県佐野市、埼玉県志木市で市街地活性化対策や行政評価制度等の研修を行った。

常任委員会

付託された案件は、議第47号「21年度一般会計補正予算」、議第48号から50号までの「国保・老保・介護の特別会計補正予算」、議第58号「市営グラウンド条例の一部改正」の5件。すべての案件は全員異議なく可決すべきものと決した。議第50号において、認知症高齢者グループホームへの消防用設備(スプリンクラー)の設置について、今期は3施設への補助となつていますが、今期申請が間に合わなかつた6施設に対しては、早急に申請

認知症高齢者グループホームへの消防用設備設置などを可決

いたたくよう指導すべきなどの意見があつた。なお、この件の補正予算額は、1千658万7千円となつている。また、今年度の文教厚生委員会行政視察は、委員全員参加のもと5月13日から15日にかけて実施した。内容は滋賀県米原市において「認定こども園の取組み」。京都府長岡京市において「高齢者福祉サービス」について研修を行った。

文教厚生

総務

建設

産業経済

減反田に非主食米作付け

付託された案件は、議案2件で議第47号一般会計補正予算、6款農林水産業費は4千476万6千円の増で、主なもの、定期異動による人件費の調整と単県事業で水田農業構造改革対策費の非主食用米総合推進事業補助金と富尾用水井戸修繕費と天水小白地区湛水防除施設の更新事業における玉名市分の調整費等である。7款商工費も2千602万8千円の増で、職員の異動に伴う

人件費の調整と県の基金事業を利用した消費者行政活性化事業に伴うものである。次に議題第56号は玉名市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例であり、2議案とも原案のとおり可決した。また、5月19日から21日まで北海道滝川市、旭川市にて農業経営の法人化事業に向けた取り組みと農業センターの総合的な支援について研修した。皆が感銘を受ける事ができた。

緊急雇用創出事業に予算措置!!

付託された案件は議案8件。一般会計は447万7千円の増額。緊急雇用創出事業の詳細や高瀬裏川の花しょうぶについて質疑。水道事業会計では八嘉東地区簡易水道工事の事業費について質疑。その他特別会計・企業会計等いずれの補正予算も4月の定期異動に伴う人件費調整が主。ほか条例改正1件。市道路線廃止・認定1件。いずれの案件も全員一致で可決。また4月27日から29日にかけて愛知県春日井市・富山県高岡市を行政視察。春日井市では交通バリアフリー法重点地区道路整備事業を視察。公共施設等の経路において高齢者や障がい者の円滑な移動を可能にした整備内容であった。高岡市では新幹線新駅周辺整備とその取り組みについて視察。これは2年後に新幹線全線開業を迎える本市と共通する課題で、さまざまに意見交換が行われた。

家庭ごみ減量化に皆で楽しんで取り組もう！

熊本県

地球温暖化防止活動推進員

荒木道也

環境応援団「エコの環たまな」のごみ減量化グループは家庭ごみ(大半は可燃ごみ)を焼却しない資源化具体案を皆さんに提供します。だれにでもできて、楽しく達成感ある方法の定着がねらいです。

2、生ごみの堆肥化 生ごみも可燃ごみの1つ。堆肥化勉強会を強化し、いろいろな方法の中から自家庭に適した方法を各自取り入れてもらいます。

今年度から推進員になりました

玉名市小浜 三原由美

熊本市内の主婦グループで、家庭でできる省エネを実践する活

動を行っています。買い物、料理、ごみ捨てなど家事は地球環境と直接つながっており、環境をよくするために私たちにできることはたくさんあります。また、1人ではなく、家族や仲間、地域の人など皆で取り組むことで大きな成果が得られます。

先日、初めて「エコの環たまな」広報啓発部会の学習会に参加させていただきました。大変勉強になりました。今後は、各グループの活動にできるだけ参加し、玉名でどのような啓発活動ができるか学んでいきたいと思っています。



▲後列左から田上、赤池、前列左から本田、今村の各会長



ホタルで市民に心の安らぎの場を

玉名地域ホタルの里づくり協議会

会長 今村 正

玉名市内には現在、岱明町ホタルを育てる会(今村正)・井尻川ホタルの会(本田栄一)・玉水ホタルの会(赤池民夫)・横島校区まちづくりホタル環境部会(田上孝則)の4つのホタル保護団体があり、それぞれ地域の特性を生かした保護活動を行っています。

ホタルが生きる豊かな自然を残す

玉名市下 本田 栄一

14年前、井尻川のホタルは河川工事のためほとんどいなくなっ

ていきました。工事を見ていた5歳の娘から「もう、ホタルは見られなくなると?」と聞かれた私は、子どもたちにたくさんのホタルを見せてやりたいと飼育を始め、地域の皆さんや梅林小学校の子どもたちと毎年幼虫の放流会、観賞会を行っています。今ではたくさんのホタルを見ることができるようになり、多くの方々の協力や理解があったからこそだと思います。ホタルはただの虫にすぎませんが、私たちに大きな感動と安らぎを与えてくれます。いつまでも自然豊かな美しい玉名であってほしいと思います。



▲後列左から柳田、宮永、前列左から三原、荒木の各推進員

9月定例議会予定

8月21日	金曜	議会運営委員会
28日	金曜	定例議会開会
31日	月曜	提案理由の説明
9月3日	木曜	一般質問
4日	金曜	一般質問
7日	月曜	議案の委員会付託
8日	火曜	総務委員会
17日	木曜	産業経済委員会
		文教厚生委員会
		建設委員会
		採決
		定例議会閉会

※都合により変更になることがあります。(会期中、決算特別委員会開会予定)

編集後記

春が来れば蛇ヶ谷公園の桜が咲く、5月になれば山田日吉神社の藤の花が咲く、6月になれば高瀬裏川のしょうぶの花が咲き多くの人が各地から見に来てくれる。今はアジサイの花がひととき目を引く、春夏秋冬、季節を彩る花人の目を楽しませ、いやし、元気をくれる花、今朝も花に目覚め、花とともに働き家に帰れば庭先で待つてくれる花、時を忘れず来年も咲いてくれるだろうか。

編集委員 松田恵明